

中で、就労支援に努めていく。なお、高等学校の就職希望者については、県教育委員会と連携し、就職支援に努めている。

福山駅前整備事業について
(公明党)

問 政府の行政刷新会議による事業仕分けで、福山駅前整備事業が、まちづくり交付金の無駄遣いとされたようである。本事業は既に約8割が交付決定され、残りは2億2千万円余である。財源不足が生じた場合の手立ては。



整備が進む福山駅前

答 行政刷新会議の事業仕分けで無駄な事業の例として挙げられたことは、整備に向けて取り組んできた経過を無視した発言であり、本市としては誠に遺憾である。「実施は各自自治体の判断に任せる」と

の結論になったと聞いているが、その財源をどのように地方に移譲するかなどは議論されておらず、現時点では不明であるが、事業に支障を来さないよう、あらゆる機会を通して国に要請していく。

◇関連質問

- ・まちづくり交付金の利用と建設計画への影響は (水曜会)
- ・福山駅前広場整備事業について (明政会)
- ・事業の早期完成への決意を (市民連合)

第四次福山市総合計画の進捗は
(新政クラブ)

問 第四次総合計画は3月末で3年が経過する。実施計画については3年間の具体的目標を掲げ、必要に応じて見直すとしているが、経済情勢の大きな変化が目標にも影響すると考えるがどうか。また、現在までの実績は。

答 2008年度の実績は、グラウンド・ゴルフ場の整備や沼隈体育館改修、消防通信指令管制システムの更新整備など173事業

に取り組み、おおむね計画に沿った実施ができた。2009年度は実施計画に太陽光発電設置推進事業などを新たに取り入れ、継続事業と併せて着実に取り組んでいる。前期基本計画の数値目標の中には、社会環境や経済情勢の変化により目標達成が難しいものもあるが、対応策を検討し目標に近づけるよう取り組む。

学校選択制度について
(水曜会)

問 本市の市立小学校・中学校の学校選択制度は、既に4年目を迎えている。学校選択制度の現在までの成果と課題は。

答 小学校ではより近くの学校へ安心して通学でき喜ばれている。一方、地域活動やPTA活動などの関わりが消極的になるケースも見られる。中学校では行きたい学校が選べる、やりたい部活動ができ学校生活が楽しい、生徒会執行部で活躍している、保護者がPTA役員に率先して立候補されているなど、生徒・保護者ともに意欲的な姿が多く見られる。一方課題としては、通学距離が長く、自転

車などによる交通事故が心配される。

◇関連質問

- ・学校選択制度の成果と課題について (市民連合)

農作物の鳥獣被害の状況は
(明政会)

問 イノシシなどによる農作物被害が、全国では年間約200億円との報道があった。最近では、加茂町の団地内にイノシシが出没する騒ぎがあったが、本市全体の鳥獣による農作物被害の状況と対策は。

答 イノシシなどの農作物被害対策として、地域が取り組む防護柵の設置による防除や、箱わなによる駆除活動への支援のほか、駆除班による日常的な駆除に取り組んでいる。21年のイノシシの被害状況は、10月末時点で約900万円、箱わな設置は43基で捕獲数は372頭。また、サル・カラスへの対策は被害届に基づく駆除で、捕獲数はサル3頭、カラス1466羽である。イノシシと人の生活圏域に緩衝地帯を設けることは有効な対策であり、地域ぐるみで継